

Rotary

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Serve To Change Lives



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 倉 井 章

幹 事 渡 邊 和 裕

会報・雑誌委員長 原 賢一

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2954号 2022年5月31日(雨) 第42回例会 会員数115名

ハイブリッド例会



点 鐘 倉井 章会長

司 会 副SAA 石田会員

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇持帰り弁当 前菜 煮物 揚物 御飯

鶏肉と野菜炒め サーモンムニエル



ビジター紹介

渡邊幹事

◇来訪ロータリアン

1名(1クラブ) 累計26,586名

宇都宮南RC 仲田俊夫様 (RI第2550地区)

2022-23年度第3グループB ガバナー補佐)

◇NPO法人うつのみや百年花火

卓話講師 会長 大野孝史様

総括 牛久広大様

統括 萩原祐貴様



会長挨拶

倉井 章会長

皆様、こんにちは。今月29日(日)に、バスケットボールBリーグの日本一を決めるチャンピオンシップ(CS)決勝第2戦が行われました。シーズンでは東地区4位の宇都宮ブレックスですが、ワイルドカード出場枠から勝ち進み、西地区1位の琉球に2連勝を飾り、リーグ初年度の優勝以来5シーズンぶりに2度目の栄冠を掴みました。昨年は、千葉に決勝で負け悔しい思いをしていますので、その雪辱を果たしました。テレビでの観戦でしたが、私も大変興奮しました。宇都宮ブレックス優勝おめでとうございます。5日、優勝パレードをする方向で調整がされているようです。

新型コロナウイルス感染者ですが、全国的に見ても5月の連休の影響はなさそうです。県内も29日の発表で93人、100人を下回るのが1月11

日以来、約4か月ぶりだそうです。昨日の発表でも84人でありますので、このまま何とか収束に向かって欲しいものです。

25日(水)に、第2550地区第3グループA・Bの第3回会長・幹事会が、宇都宮南RCのホストで行なわれました。今回は、今年度最後の会長・幹事会でしたので、現年度の会長・幹事及び次年度の会長・幹事での集まりでした。各クラブより、後期の活動報告がなされ、次年度会長の抱負が話されました。後期は長い間、まん延防止等重点措置が出されておりましたので、各クラブともクラブ運営にはかなり苦勞をされており、2月などは休会をしていたクラブが多かったようです。会員数の報告がありましたが、第3グループ総数は、12月末、584名が、5月現在で575名と減少をしております。

話は変わりますが、昨年11月にクラブ理事会におきまして、グローバル補助金を利用した奨学生を推薦を決議しており、地区に申請後、ロータリー財団へ事前審査を申請しております。今回、29日(日)奨学生との打合せ会を行いました。地区財団奨学金委員長の赤坂様にお出で頂き、渡邊ガバナー補佐、加藤会長エレクト、石川会長ノミニ、谷田部会員が参加致しました。奨学生のお名前は、山田有紗さんと申します。後ほど動画を見て頂きます。

ロータリー財団の奨学金は、地区補助金を利用した奨学生とグローバル補助金を利用した奨学生に分けられます。グローバル補助金を利用した奨学生は、第2550地区において2人目となりますが、当クラブにおいては、地区補助金を利用した奨学生8名の派遣実績があります。

グローバル補助金を利用した奨学生の対象者は、6つの重点分野に関して研究をするものに限られ、従来の芸術や文学、音楽といった分野は対象外となります。条件を満たしている限り、年齢制限は

なく、期間は、大学院またはそれに相当するレベルの期間で、奨学金には、授業料、旅費、生活費、その他ロータリー財団承認の他の教育関連の費用が含まれます。6月末までに本申請を行い、8月20日頃から2年間の留学となります。

重点分野は、「基本的教育と識字率の向上」となりますが、「民主的な対話を日常から生み出す“生徒の参加”を促進する教育」を、栃木から世界中の学校に広げる、グローバル×Localな教育者・研究者となるために、スウェーデンのストックホルム大学への博士号取得留学を希望しております。「子供たちが自分の意見を自由に表現できる教育」を、生徒の「参加」に関するスウェーデンでの理論と実践という立場から研究し、日本の教育現場に還元したいとお話しておりました。留学前の8月、例会に参加することになっております。

本日も、ゲスト卓話となります。NPO法人うつのみや百年花火 会長の大野孝史様よりお話を頂きます。コロナの影響で2年間開催が中止となっておりますが、今年こそは是非とも開催をして頂きたいと思っております。

本日も、最後まで宜しくお願い致します。

※山田有紗さんから、オンラインによるビデオ挨拶がありました。

R1第2550地区2022-23年度第3グループB
ガバナー補佐挨拶 仲田俊夫様



本日は、次年度ガバナー補佐を受けるにあたり、こちらのクラブの例会の雰囲気味わってみたい、ということで参加させていただきました。来年一年、微力ながらガバナーと宇都宮東クラブのパイプ役になりたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

 幹事報告 渡邊和裕幹事

◇2009-10年度ガバナーの森 玄房様が5月24日にご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。なお、通夜、告別式は先週、執り行われました。

◇山田有紗さんからいただいたお土産をテーブル

にお配りいたしました。

 委員会報告

◇スマイルボックス委員会 手塚委員長
2022-23年度第3グループB ガバナー補佐
仲田俊夫 様 (宇都宮南RC)
次年度よろしくお願ひ致します。

「3分間スピーチ」

清水秀修会員



ご指名でございますので、3分間スピーチをさせていただきます。皆様ご存知のように、宇都宮には陸上自衛隊があります。今日は、茂原にある陸上自衛隊についてお話させていただきます。こちらは、中央即応連隊と呼ばれています。「中央」ですが、宇都宮は日本のほぼ真ん中に位置します。北へも南へも、そして太平洋にも日本海にも行きやすく、また、首都圏にも近いという地の利を有しております。「即応」ですが、テロ、ゲリラなどへの緊急展開、海外での邦人の救出、爆発物処理、国内外での災害活動、また、アデン湾、ジブチにおける海賊対処なども行なっております。およそ700名の隊員で構成され、日夜厳しい訓練をして即応体制をとっています。宇都宮にいても知らない方もいらっしゃると思い、紹介させていただきました。機会があつてお会いすることがありましたら、是非エールをおくっていただければと思います。

※次回3分間スピーチは福田治雄会員

 卓話

「2022うつのみや花火大会開催」

NPO法人うつのみや百年花火
会長 大野孝史様



皆さん、こんにちは。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。わずかな時間ですが卓話をさせていただきます。

- パワーポイントにて説明 -

2022年うつのみや花火大会は今年8月13日、宇都宮市道場宿緑地にて開催を予定しております。2020年、2021年と新型コロナウイルスの影響で大会が中止となりました。ただ、どちらもサプライズ花火という形で花火を上げさせていただきました。今年は、3年ぶりのお客様を入れての開催に向けて、メンバー一同準備を進めているところです。

今年のうつのみや花火大会のテーマは「元気」とつけさせていただきました。うつのみや花火大会が復活してから今年で16年目を迎えます。花火大会は全員ボランティアで運営しており、単年度制ですので、会長も私で16人目の会長になります。今年こそ、お客様を入れて開催することで、皆様に元気をお届けしたい、ということと、宇都宮というまちが元気になって貰いたいということで、「元気」というテーマをつけさせていただきました。

自己紹介をいたします。1983年生まれ、出身が埼玉県です。転職し、2011年10月に宇都宮に来ました。現在、積和建設埼玉栃木(株)で住宅のリフォームの営業をしています。座右の銘は「継続は力なり」です。花火の歴は今年で10年目になります。2013年に初めて参加しました。最初は資金チームメンバー、2014資金チームサブリーダー、2015企画チームリーダー、2016・2017・2018統括、2019・2020・2021副会長、そして今年、会長をさせていただいております。うつのみや花火大会には理念がありまして、毎月、市役所で行う全体会議でスローガンを唱和しています。「未来を担うこども達に夢と希望と感動を」ということで活動しております。私たち運営メンバーが、明るく元気よく活動し、一生懸命全力で花火大会を運営する事で、必ず輝く未来がくると信じています。また、夜空に広がる大輪の花火を見ることで、多くの方が勇気づけられ元気になり、100年先まで続く花火大会になると確信しております。支えて下さるスポンサーの皆様をはじめ、関係各所の皆様、仲間や家族のために、がむしゃらに花火大会運営に尽力していきます。

うつのみや花火大会は、2019年で合計3万発の花火を打ち揚げ、またその花火大会を間近で体感できる北関東屈指の夏の風物詩です。観客動員数は約40万人に上ります。ラストを飾る「雷都うつのみや」まで色鮮やかな花火が打ち上がり、フィナーレを飾ります。

これまでの経緯ですが、宇都宮市における花火大会は記録上では1967年の開催が最初です。1984年から「とちぎ博きぬ川花火大会」という形で、栃木新聞者主催で継続しておりましたが、地元経済の低迷から2003年を最後に、2004年か

ら2006年の3年間は中止となり、宇都宮の夜空から花火が消えてしまいました。2007年にボランティア有志が立ち上がり、花火大会を復活させました。2012年「NPO法人うつのみや百年花火」を設立、現在に至っております。

うつのみや花火大会は、3年間休止していた花火大会を20代、30代の市民有志が復活させた全国で唯一のボランティア組織が主催する花火大会です。日本初の、花火大会を運営する為だけのNPO法人で、毎年100名を超える仲間と活動しています。(直近では運営メンバーが100名を超え、当日ボランティアも約200名を超える)今年のメンバーは、若い方では大学生、高校生、10代の方、年配の方では、60代、70代の方にも活動していただいております。

休止していた3年間に打揚げられるはずだった二尺玉に想いを込めて、2007年、オープニング二尺玉3連発で復活しました。直近では、200社を超える企業がスポンサーとなり、サポーター、募金により多くの協賛金をお預かりしています。いずれは、宇都宮市民約50万人から100円ずつ募金して頂き、5,000万円を集めて、宇都宮市民全員で、手作りの花火大会を完成させるのが目標です。これまでのテーマは、2007年「復活」、2008年「夢」、2009年「挑戦」、2010年「愛」、2011年「粋」、2012年「真心」、2013年「キセキ」、2014年「感謝」、2015年「思ひ出」、2016年「笑顔」、2017年「幸せ」、2018年「絆」、2020年「渾身」、2021年「想い」、そして2022年の「元気」です。

運営は、全国的にも珍しいオールボランティアで構成され、計画から運営まで、すべてメンバーが行い、花火大会を開催しています。メンバーは、ほぼ一年間をかけて、たった1日の花火大会の準備を行います。昨年の2021年11月にサプライズ花火を揚げさせていただきましたが、その後、2022うつのみや花火大会の第1回全体会議を11月に開催しております。とりわけ、個々の想い・アイデアの実現に不可欠なのが、資金と人材です。資金と人材を安定的に確保すること、これは花火大会の開催可否に関わるため、毎年の最大の課題と言っても過言ではありません。

花火大会開催の1ヶ月前に、花火の絵の展覧会を開催しています。宇都宮市内の幼稚園、保育園の年長児童を対象に約3,000点もの花火の絵を展示し、家族で触れ合うイベントです。花火の絵を自由に描いてもらった時に、小さな手持ち花火ではなく、大きな大輪の華を描いて貰いたい、という想いから、花火が復活した時から続いています。また、作品の中から抽選で10名の園児の絵を、実際に花火として打揚げています。

新型コロナウイルスの影響により、2020年、

2021年とお客様を入れての開催ができていない状況ですが、サプライズ花火を通して、本当に沢山の方が楽しみにして頂いていること、本当に多くの方が応援して頂いていることを感じております。今年こそ、お客様を入れての開催をし、お客様を入れての開催をすることで、皆様に元気をお届けしたいと思っております。2022年も、コロナ禍での活動になっておりますが、コロナ対策・

安全安心をしっかりと、3年ぶりのうつのみや花火大会開催に向けて準備を進めてまいります。メンバー一人一人が役割を持ち、誰もが輝ける会の運営を目標としています。残り3ヶ月をきっておりますが、ご支援、ご協力の程よろしくお願致します。

※花火大会のパンフレット、テーブルに配布